福島民友　平成 30 年 5 月 19 日（土）

（第三種郵便物認可）　福島民友　2018年(平成30年)5月19日（土曜日）

ようこそいわきへ

ありがとう

参加国・地域の旗を手に特別公演を披露するフラガールら＝18日午後、いわき市・スパリゾートハワイアンズ

いわき市で18日に開幕した第8回太平洋・島サミット。一つの海でつながったいわきの子どもや市民と島しょ国・地域の首脳らが、いわきの地で再び開かれたサミットの喜びを分かち合った。本県関係者は福島ならではおもてなしで首脳らを歓迎し、復興支援に対する感謝の気持ちを表した。【1面に本記】

参加する首脳陣らを乗せた特別列車が到着するJR湯本駅前では、列車からいわきの地に降り立った参加国・地域首脳陣を、住民らが各国・地域の旗をデザインした手旗で歓迎した。参加した、まこと幼稚園の神長心絆ちゃん(6)は「ハロー」と大きな声であいさつできた」と愛嬌を振りまき、要人たちを笑顔にした。

メイン会場となったスパリゾートハワイアンズでは、市内の小中学校11校約250人が、現地の言葉によるあいさつなどで各国・地域要人を出迎え、国際会議の幕開けを盛り上げた。

会場に登場した共同議長国サモアのツイラエパ首相・外務貿易相は英語で「ありがとう」を繰り返しながら、子どもたちと触れ合い記念撮影に応じるなど交流。一緒に写真に納まった赤井小6年の石上琴乃さん(11)は「優しそうな人」と印象を口にし、「島しょ国・地域に興味が湧いた。首脳の人たちもいわきの自然などを満喫してほしい」とメッセージを送った。

子どもたちのほか、サミットを盛り上げるため結成された、「高校生応援隊」の生徒たち約30人も会場で首脳陣の到着を見届けた。隊長を務める平工高3年の内山瑞葵さん(17)は「サミットは島しょ国・地域ならではの悩みを共有できる機会。言葉の壁はあるが、いわきの人の温かい雰囲気も感じてほしい」と、間近で行われている国際会議がいわきの魅力を世界に伝える機会になってほしいとの期待を寄せた。

同市のパレスいわやで催された、内堀雅雄知事主催の昼食会。同市の伝統工芸品「いわき絵のぼり」が会場を彩り、各国・地域の首脳を迎えた。出席者のグラスには、今回の全国新酒鑑評会で金賞を受賞した、同市の四家酒造店の「又兵衛大吟醸」が注がれた。清水敏男市長は「いわきが世界に誇る酒」と紹介。首脳陣は昼食に使用された県産品や本県の酒に舌鼓を打った。

また、スパリゾートハワイアンズで行われた安倍晋三首相夫妻主催夕食会後には、フラガールやサモアの高校生が各国・地域の首脳夫妻を前に特別公演を繰り広げ、華麗にステージを彩った。

知事主催昼食会場で各国・地域首脳らを出迎えた「いわき絵のぼり」＝18日午前、いわき市

島サミット会場に到着した各国・地域首脳を歓迎する中学生ら＝18日午後、いわき市・スパリゾートハワイアンズ

いわき民報　平成 30 年 5 月 19 日（土）

第８回太平洋・島サミット

持続可能、拉致解決など首脳宣言採択

日本と18の太平洋島しょ国・地域などによる国際首脳会議「第8回太平洋・島サミット」は19日、いわき市を会場に、2日目の日程を行っている。メインとなる常磐藤原町のホテルハワイアンズでは同日午後、共に議長を務める安倍首相、サモアのトゥイラエパ首相が記者会見に臨み、太平洋地域の持続的発展の可能性に加え、北朝鮮による拉致事件の即時解決に一致して取り組むことなどを盛り込んだ首脳宣言の採択を発表した。

（首脳宣言に関しては21日付本紙で詳報。2、11面に関連記事）

第8回
太平洋・島サミット
The Eighth Pacific Islands Leaders Meeting (PALM8)

安倍首相と太平洋島しょ国の首脳による記念撮影＝19日午前9時56分、常磐藤原町のホテルハワイアンズ

安倍首相基調演説　法の支配、人的交流示す

会議の合間　各国首脳ら和やかなムード

首脳会合が19日午前に始まり、開会セッションの席上、安倍首相が基調演説に立ち、①海の秩序に法の支配を打ち立てる②自立的で持続可能な繁栄が実現できるよう、ハード・ソフトの質の高いインフラ整備を図る③次回のサミットまでの3年間に5千人以上の育成・交流を展開する――の3点を示した。

安倍首相は海洋汚染、外国船による違法操業に触れ、「海が無法の場となれば、パーム（太平洋・島サミット）諸国は深刻な打撃を受ける。パームのプロセスを、これらに対する解決策を見いだす場にしましょう」と呼びかけた。

27年5月にいわき市で行われた前回の太平洋・島サミットで採択された「福島・いわき宣言」も振り返られ、サモアに気候変動に備える専門家を育成する「太平洋気候変動センター」が起工したことが紹介された。

トゥイラエパ首相からは日本の支援に対する謝意が示された上で、「実り多い話し合いで、強靭（きょうじん）なパートナーシップを築きたい」と伝えられた。

会合に合わせ、参加首脳による記念撮影もあった。自然とノーネクタイとなり、誰ともなくカメラマンに手を振るしぐさを見せ、和やかなムードで進められた。

■7カ国と二国間会談

安倍首相は18日午後、ホテルハワイアンズで、相次いで二国間会談に取り組んだ。パラオ、ミクロネシア、マーシャル諸島、キリバス、クック諸島、パプア・ニューギニア、ナウルの首脳に対し、自らが提唱する「自由で開かれたインド太平洋戦略」の具体化を目指し、連携・協力を深めたいと述べた。

会談に当たって、安倍首相は各国が抱える防災・減災分野、インフラ整備といった事業に無償資金協力を提案。日本漁船の安定的な操業への配慮、太平洋戦争に伴う遺骨収集事業への協力などを求めたほか、北朝鮮を含む地域情勢についても意見交換した。

首脳会合で基調演説に立つ安倍首相